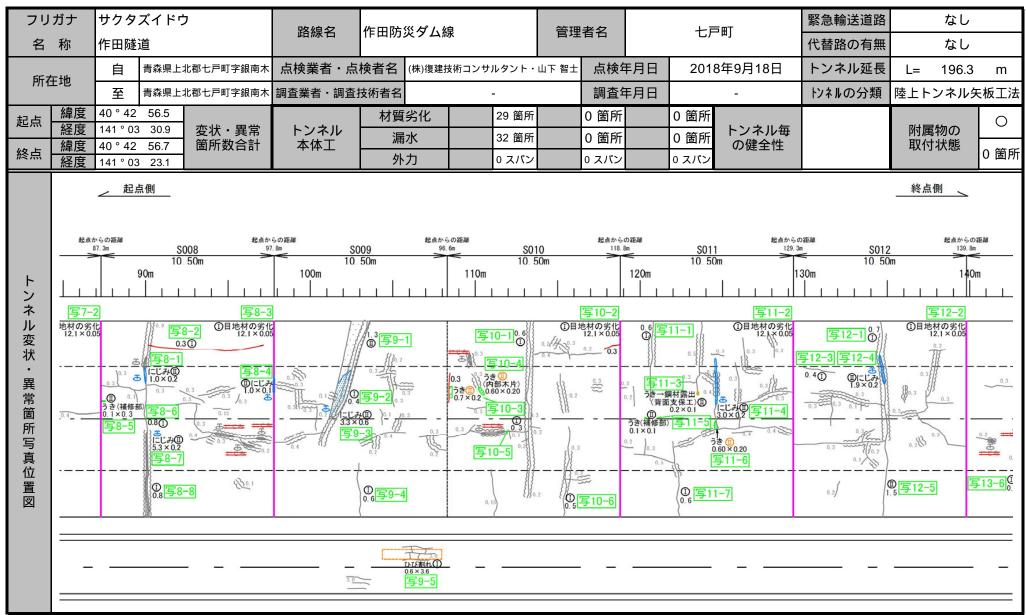


- 1 トンネル本体工の変状数は,材質劣化,漏水に起因するものは変状単位で,外力に起因するものはスパン単位で計上すること.
- 2 本体工の変状に対しては,判定区分 ~ (対策実施後の を含む)について記載すること.
- 3 附属物の異常に対しては,判定区分×(対策実施後の を含む)について記載すること.

フリ			ズイドロ	ウ	路線名	作田防	災ダム約	泉	管理	者名		七戸	·田丁	緊急輸送道路	なし	
名	称	作田隧	道					-						代替路の有無	なし	,
所在	⊏+₩	自	青森県上	北郡七戸町字銀南木	点検業者・点	検者名	(株)復建技	支術コンサルタント・	山下 智士	点検年	F月日	2018	3年9月18日	トンネル延長	L= 196	3 m
<i>F</i> /11	C > C	至	青森県上	:北郡七戸町字銀南木	調査業者・調査	技術者名		-		調査年	F月日		-	トンネルの分類	陸上トンネル	/矢板工法
起点		40 ° 42		李仆 田光	1.5.4.11	材質	劣化	29 箇所		0 箇所		0 箇所	1 2 . 4 11 /=			0
//Z ==	経度	141 ° 03 40 ° 42		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	漏	水	32 箇所		0 箇所		0 箇所	トンネル毎 の健全性		附属物の 取付状態	٥ ٥٥ ٢٢
終点	経度	141 ° 03				外	力	0 スパン		0 スパン		0 スパン				0 箇所
		_ 起点	頓												終点側 _	
		起点からの距離 36.2m	f		3004		起点から0 55.8m	S005		起点からの2 66.3m	EAM	S006	起点からの 76.8m	S007	起点から 87.3	
L		.	40	Om .	9. 60m 50m		.	10. 50 60m	m	.		10. 50m 70m		10. 50m 80m		90m
シー			II			ш	ىللت		ш	ىلىل						
ネル		23-3				○ □±	写4-3	写5-		写5-3		CO	写6-2	(0)	写7-2	8
変	①目地材の12.1	-	[写4-1 0.8	0.4	(UHA	地材の劣化 12.1×0.05	写5-1 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	E T	材の劣化 2.1×0.05	写6-1] (D)	①目地材の劣化 12.1×0.05 {{}0.2	}} 写7-1	①目地材の劣化 12.1×0.05	
状・	3=5/E	こじみ 0×0.2		写4-2		<u>&</u>		(D)にじみ 2.7×0.5			页 <mark>写6</mark> −	3		} }		
異	D濁音。4 /	3-4 ⊜°	落 0.35	(D) (L) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	写4-4 (III) (III) (III	1	0.3) ====================================		木片 0.05	× 0. { } 0.2	0.2	0.3 はく落 0.10×0.05 0.3 うき回 0.80×0.40	7-2	0.3
異常	\(\frac{1}{2}\)	- 4 0 4	·落 0.35 0×0.05	0.3	(人) 0.1×0.1 (人)	}	}	0.3	©3 (0.2 ∰ ∰ 5 5-4		写6-	4 (B)	はく落 0.35×0.20	3 5 0. 80×0. 40 5 0.2 0.3 0.2 × 0.6	- S	D 0.1 0 き (補修部) 1 × 0.3
所	0.6	0.3	0.3		3 \$ 0.2 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		よく落 0.05×0.60		c/3 0.5	- F			1	事7-4		写8-5
写真位置	加 (写)	- 9		0.3	0.2 写4-5	0.4		の3 (D)(こじみ) 0.2 5.4×0.5 写5-5	.560 0	.2	#	## (1 ^{0.3}	0.3 0.3	写7-5 ¹² こじみ ×0.5	3	
位	0.3	物腐食			<u>4-6</u> じみ面			lit	落				\	7-6		
置図	0.3	勿摘長	8		×0.3 万 <mark>写4-7</mark> (0.4		-	5.2 写5-6 0.8	×0.4 うき回う 0.6×1.0 にじみ回 0.2×01	5-7	<u>与</u>	6-5 (III)	-	[2] 写7-7		
					/[3.7]			0.2	にじみ(II) 0.2×0.1 写5-8			1. 25 8		{}		I
									300	1						
			_		_									_		
				写4-8												
				0.8 × 2.3 ×												

- 1 トンネル本体工の変状数は,材質劣化,漏水に起因するものは変状単位で,外力に起因するものはスパン単位で計上すること.
- 2 本体工の変状に対しては,判定区分 ~ (対策実施後の を含む)について記載すること.
- 3 附属物の異常に対しては,判定区分x(対策実施後の を含む)について記載すること.



- 1 トンネル本体工の変状数は,材質劣化,漏水に起因するものは変状単位で,外力に起因するものはスパン単位で計上すること.
- 2 本体工の変状に対しては、判定区分 ~ (対策実施後の を含む)について記載すること.
- 3 附属物の異常に対しては,判定区分x(対策実施後の を含む)について記載すること.

		7 🗎							_		_					
フリ			ズイドウ		路線名	 作田防:	災ダム潟	₹	會	管理者名		七戸	⋾囲Ţ	緊急輸送道路	なし	
名	称	作田隧	道 ————											代替路の有無	なし	,
所在	- +₩	自	青森県上北	郡七戸町字銀南木	点検業者・点	検者名	(株)復建技	術コンサルタ	/ト・山下 行	雪士 点検	年月日	2018	8年9月18日	トンネル延長	L= 196.	3 m
<i>F</i> 71 1⊐	CTR	至	青森県上北	郡七戸町字銀南木	調査業者・調査	技術者名		-		調査	年月日		-	トンネルの分類	陸上トンネル	⁄矢板工法
起点	緯度 経度	40 ° 42 141 ° 03		计 电电	しいカロ	材質	劣化	29	 箇 所	0 箇所		0 箇所	しいカリケ		四号物の	0
45 F	緯度	40 ° 42		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	漏	水	32	箇所	0 箇所		0 箇所	トンネル毎 の健全性		附属物の 取付状態	0 77 55
終点	経度	141 ° 03				外	力	0.7	パン	0 スパン		0 スパン				0 箇所
		_ 起点	京側												終点側 、	
															No. of the last of	s
	起	点からの距離 139.8m		013	点からの距離 150.3m	S014	起点	からの距離 160.8m	S015	起点	からの距離 171.3m		016	からの距離 81.8m SO17	起点からの距離 190.3m	S018
L		140m	10	. 50m	150m	10.50m	160	m	10. 50m	170m		10.	50m 180m	8. 50m	190m	6.00m
トン	$\bot\bot$															
ネ	写12		7901	写13		785		写	15-1	写15-						518-1 /s
ル 変	目地材の 12.1×	劣化 0.05	0.85	①目地材の 12.1×	5化 0.05 写14-1 0.05	8	_	0.2 0.3 0.8	0.3	①目地材の針 12.1×0	115 1.05	写16-1		写17-1 /	写17-2 ①はく落 3.50×0.20	回にじみ 4.3×1.0
状	0.2					写14- にじみ@ 0.6×0.3				{} {} {} 3			0.3	0.4	0.4	0.3 はく落
異	0.3		0.3 (2.8)	が ×0.2 写13-3	0.3	0.6 × 0.3	0.3	- 0.3	0.2	0, 15		写16-2	うき(補修部)	0, 10×0	· 第一0.3 · 10 · 35	0.6
常	0.3	_	0.3	0.2	0,3	0.3	0.3	0.15	() (0.4		0. 2	0.	5.8 0.1×0.2 写16-3	Pro.s	0.1	0.3
固所	*	-			● 閉合ひび割れ	0, 15	0.2	0.2		0.2	-		写16-4	0.4 写17-3	0.8	写18-3
異常箇所写真	180 B	0.2		0.3	0.4×0.6 写14-3	EB	0.3	0.2	\$ 60.4 \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	0.2 0.3	0.2	0.3	うき(補修部) 0.2×0.4	0.3	2 0.2 0.2 0.2 0.1	() () () () () () () () () () () () () (
真位			0.4	D 写 13-4			34-4 14-4		ひび割れる		0.	P /		写[7-	2 (加滴水 20ml/min -4 周辺にじみ	11 112
位置	2-5	写13	<u>-6</u> 0,5	写13	-5	□閉台 0.3	aひび割れ × 0.6		15-3	0.4		##@ _[5]	216-5	# 3.	Dは〈落 60×0.20	
図			Y			0.5		B	①写15-				0.15		₹17-5 0.3 ①	写18
															写17-6	
														写17-7 型滞	T Px	
		100	-						-						m	2.0
														all	3.077	3.0

- 1 トンネル本体工の変状数は,材質劣化,漏水に起因するものは変状単位で,外力に起因するものはスパン単位で計上すること.
- 2 本体工の変状に対しては,判定区分 ~ (対策実施後の を含む)について記載すること.
- 3 附属物の異常に対しては,判定区分x(対策実施後の を含む)について記載すること.

	和未品	門田	ーノか	ルタハ・共市		르스									
フリ	ガナ	サクタ	ズイドワ	ל	路線名	作田防災久	ブム绰	答理	書 名		七戸	5 MT	緊急輸送道路	なし	
名	称	作田隧	道		PU WY 11	гшых					۵,	H.)	代替路の有無	なし	
所在	正+# 1	自	青森県上	北郡七戸町字銀南木	点検業者・点	検者名 (株))復建技術コンサルタン	・山下 智士	点検年	月日	2018	3年9月18日	トンネル延長	L= 196.3	m
<i>F</i> / 1=	또ᄖ	至	青森県上	北郡七戸町字銀南木	調査業者・調査	技術者名	-		調査年	月日		-	トンネルの分類	陸上トンネルタ	天板工法
起点	緯度 経度	40 ° 42		本华、田 也	トンネル	材質劣化	七 29 筐	所	0 箇所		0 箇所	トンカリケ		四层物の	0
44 上		40 ° 42		変状・異常 箇所数合計	本体工	漏水	32 筐		0 箇所		0 箇所	トンネル毎 の健全性		附属物の 取付状態	0 答託
終点	経度	141 ° 03	3 23.1			外力	0 スノ	ン	0 スパン		0 スパン				0 箇所
		_	起点側	_		終点側 _									
		起点からの距離		起点からの距離											
		190. 3m	S018 6. 00m	196. 3m											
+	ı	190m													
ンネ			0	く落 10×0.40											
ル	写1	7-2	〒18-1 即にじみ 4.3×1.0												
· 変 : 状	3.50>	(0.20	4.3×1.0 0.3 はく落	写18-2											
異	€0,3	0.1	く答 0.3 ×1.3 (0.6~) (0.2)	3	写PE-1 (5:03)										
常	7	-	0.3												
箇所写真	0,3		<u>写18-3</u> 0.3①	0.3		0130									
写	€ 00	の2 D滴水 I/min こじみ	~ 1×1.5	0.2											
位		/	# # ==		写PE-2 色: @										
位 置 図	t く落 : 0. 20 7-5	***************************************][<i>[</i>]][[写][8-4	0.2×1.4	1									
		0.3 ①	• 1	D0. 8											
	-	7 0													
	-	77													
	Z	1	3.0												
	4														

- 1 トンネル本体工の変状数は,材質劣化,漏水に起因するものは変状単位で,外力に起因するものはスパン単位で計上すること.
- 2 本体工の変状に対しては,判定区分 ~ (対策実施後の を含む)について記載すること.
- 3 附属物の異常に対しては,判定区分x(対策実施後の を含む)について記載すること.

フリナ	ガナ	サクタズイドウ		路線名	作田防災ダム線	点検賞	≰者·点标	食者名	(株)復建技術コン	vサルタント·山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
名		作田隧道		 管理者名	七戸町	調査業	者·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	PS			2.24	写真	覆工 スパン 番号	,	S001			
番号	変状 番号	1				番号	変状 番号		1			
変状	対象 箇所	坑門	作	田	隧	変状 部位	対象 箇所		覆工		148 7	(x) (x)
部位	部位 区分	坑門左側					部位 区分		アーチ			
変状		材質劣化					区分		質劣化			
変状		ひび割れ				変状	種類		也材劣化 I			
健全性	点検·語 措置	後				健全性	点検·語 措置	貨				
		の規模 最大幅0					発生範囲					
	点検時の		ル 最大幅0.2mm				点検時の		劣化 -			
	査(方針			実施状況(実施日)	-		査(方針		-		実施状況(実施日)	-
	置(方針			実施状況(実施日)	-		置(方針	-			実施状況(実施日)	-
λ -		坑門左側にひび	割れ。対策区分の判	定 。		У		アーチョ	部に目地材の	劣化。対策区分位	D判定 。	
写真	覆工 スパン 番号	S001				写真	覆工 スパン 番号	,	S001			
番号	変状 番号	2	1			番号	変状 番号		3			
変状 部位	対象 箇所	覆工	100			変状 部位	対象 箇所		覆工		(08	
	部位 区分	左側壁					部位 区分		アーチ			1-68
変状		材質劣化	The state of the s		THE PARTY NAMED IN COLUMN TO PARTY NAMED IN CO		区分		質劣化			ON TO
変状		ひび割れ	Barrier State of the State of t	金岭市	A CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH	変状	種類		び割れ			E LOK
健全性	点検·i 措置			1分的 100000000000000000000000000000000000		健全性	点検· 措置					
変状の乳	発生範囲	の規模 最大幅0.	3mm			変状の	発生範囲	の規模	最大幅0.8mm			
前回点	点検時の)状態				前回	点検時の)状態	ひび割れ	最大幅0.8mm		
調	査(方針	-		実施状況(実施日)	-	部	査(方針	t)	-		実施状況(実施日)	-
措	置(方針	-		実施状況(実施日)	-	拮	置(方針	t)	-		実施状況(実施日)	-
λ:	ŧ	左側壁部に縦断	方向ひび割れ。対策	区分の判定 。			Ŧ	左アー	チ部に縦断方	向ひび割れ。対策	(東区分の判定 。	

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

フリ:	ガナ	サクタス	(イドウ		路線名	作田防災ダム線	点検賞	€者·点核	食者名	(株)復建技術コン	/サルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
		作田隧	道		管理者名	七戸町	調査業績	≛·調査技	大術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	;	S001			And the second	写真番号	覆工 スパン 番号		S001			
番号	変状 番号		4	-1-	A4 5		番号	変状 番号		5		- 1/24	1
変状	対象 箇所		覆工	0	5		変状	対象 箇所		覆工			0.120.1
部位	部位 区分		- チ天端			- 1 1 mos	部位	部位区分		- チ天端			1-1
変状			質劣化					区分		質劣化	P. Carlon		
変状			筋の露出				变状	種類		筋の露出	1609.47	The state of the s	The state of the s
健全性	点検·i 措置						健全性	点検·i 措置					
変状の	発生範囲	の規模	L=0.1m				変状の	発生範囲	の規模	L=0.1m			
前回,	点検時の)状態	鉄筋の露出	× L=0.1m			前回	点検時の	状態	鉄筋の露出	× L=0.1m		
調	査(方針	†)	-		実施状況(実施日)	-	調	査(方針	-)	-		実施状況(実施日)	-
措	置(方針	†)	継続監視		実施状況(実施日)	-	措	置(方針	-)	継続監視		実施状況(実施日)	=
У		アーチヺ	に端部に鉄筋	露出。対策区分の	D判定 b。		Х	Ŧ	アーチ	天端部に鉄筋	露出。対策区分	の判定 b。	
写真	覆工 スパン 番号		5002				写真	覆工 スパン 番号		S002		The state of the s	
番号	変状 番号		1				番号	変状 番号		2			
変状	対象 箇所		覆工		-4	性出版	変状	対象 箇所		覆工	PA	製料	
部位	部位 区分	左	E側壁		1,6		部位	部位 区分		アーチ			
変状			漏水	S STREET		5 2		区分		質劣化		4	The same and the s
変状	種類		く(にじみ)	1			変状	種類		也材劣化	THE WALL	COLUMN TO THE	THE RESERVE TO SERVE THE PARTY OF THE PARTY
健全性	点検·i 措置						健全性	点検·i 措置					
変状の	:		0.8m × 0.2m				変状の			L × W=12.1m × 0.05m	 		
	点検時の		i				前回	点検時の	状態	劣化 -			
調	査(方針	†)	-		実施状況(実施日)) -	語	査(方針	-)	-		実施状況(実施日)	-
措	置(方針	†)	継続監視		実施状況(実施日)	-	挂	置(方針	-)	-		実施状況(実施日)	-
Х	Ŧ	左側壁	部に漏水(にじ	み)。対策区分の			Х	Ŧ	アーチ	- 部に目地材の	劣化。対策区分(の判定 。	
				細た提合け 宝	たび の口ませい	エムナフート		<u> </u>	11///-	<u> </u>	けるの宝施状	20 13 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	->= /

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

		サクタス	ズイドウ		路線名	作田防災ダム線	点検賞	≰者·点	食者名	(株)復建技術コン	/サルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
	75 7	作田隧			管理者名	七戸町		者·調査技			_	調査年月日	-
Н	覆工	пгшм			H411	D/ +J	阳显木	覆工	XII) II II			17J1	
	スパン		S002					スパン	;	S002			
写真	番号						写真	番号				10000000000000000000000000000000000000	William House
番号	変状		3		10005		番号	変状		4		到月里以	The Land of the La
	番号		ŭ) / / / / / / / / / / / / / / / / / / /			番号		·			A PARIS S
	対象		覆工	- /57	> 26	ATTIO		対象		覆工			CANADA
変状	箇所		18.11		1		変状	箇所		18.11		370	(4)
部位	部位	左	アーチ	A A		9	部位	部位	#	上側壁		7/	
	区分							区分			XP		
	区分		漏水			Telefan Bores		区分		質劣化			
变状	種類		K(にじみ)				- 変状	種類		び割れ	2 (1)	4/	TO THE REAL PROPERTY.
健全性	点検· 措置						健全性	点検・ 措置					
亦生の			0.8m × 0.2m				赤牡の			最大幅0.5mm			
	光主戦団 点検時の		0.8m×0.2m 漏水(にじみ)					点検時の			最大幅0.5mm		
	画查(方金		/相/J((C UV)		実施状況(実施日	1 -		查(方金		U'U'E911		実施状況(実施日)	_
	置(方金		継続監視		実施状況(実施日			置(方金 置(方金		_		実施状況(実施日)	_
	E			 じみ)。対策区分	*	′		モ (//) =		L 部に縦横断方			
	覆工		A 5 (- 17,0 1.0011				覆工					·
	スパン番号		S002					スパン 番号	,	S002			
写真番号						1.0005	写真番号				Section 1		8-8
	変状 番号		5				ш 3	変状 番号		6	-		\$ 0-7
						5 13 CO					A CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH		
	対象		覆工		1			対象 箇所		覆工		1	
変状 部位				10 f		64	変状 部位						-
마쁘	部位区分	左	アーチ		1		마쁘	部位 区分	ア-	-チ天端		1.6003	
亦业	区分	**	質劣化		美国海岸		亦小	区分	**	質劣化			
	種類		び割れ					<u> </u>		ラカル 濁音			AND THE
又1/1	点検·		O'Bill				又1/1	点検·		/当日	A STATE OF THE STA	WEST TO	
健全性	措置				The second second second second		健全性	措置					
変状の			最大幅0.9mm				変状の			L x W=1.6m x 0.2m			
	点検時の		i					点検時の			W=1.6m × 0.2m		
	直(方金		-		実施状況(実施日) -		查(方金		-		実施状況(実施日)	-
挂	置(方金	†)	-		実施状況(実施日) -	挂	置(方金	†)	継続監視		実施状況(実施日)	-
Х	ŧ	左アー	チ部に縦横断	 方向ひび割れ。対	 対策区分の判定					- 天端横断目地	!部に濁音。対策	 区分の判定 b。	
	+ +	ナセル	位士」と中で	布した場合は 実	佐然の写古た	チ <i>什</i> 士ァート		rt 4	2 1 1 1/2 +	·	は、その実施状況	ロボハムッロすっ	ヒエルナットし

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

フリ	ガナ	サクタズイドウ		路線名	作田防災ダム線	点検賞	€者·点标	食者名	(株)復建技術コン	/サルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
	称	作田隧道		管理者名	七戸町	調査業績	者·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	S002			11005	写真番号	覆工 スパン 番号		S002			
番号	変状 番号	7	Marie and Million	A	3.3-2	番号	変状 番号		8	8-3-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	1	
変状 部位	対象箇所	覆工		NO S		変状 部位	対象 箇所		覆工			影之
	部位区分	アーチ天端			271		部位 区分		-チ天端			
	区分	漏水	The same of the sa				区分		質劣化		(20)	XA
変状	種類	漏水(にじみ)		MANUEL STATE		変状	種類		濁音 I			
健全性	点検· 措置					健全性	点検·記 措置					
変状の	1	の規模 0.5m×0.1m				変状の			L × W=1.0m × 0.5m			
	点検時の						点検時の			W=1.0m × 0.5m		
語	查(方針	t) -	S. C.	実施状況(実施日)	-	語	査(方針	†)	-		実施状況(実施日)	-
挂	置(方金	l) 継続監視	3	実施状況(実施日)	-	措	置(方針	†)	継続監視		実施状況(実施日)	-
X	Ŧ	アーチ天端部に漏水	(にじみ)。対策区	分の判定 b。		Х	Ŧ	アーチ	天端部に濁音	。対策区分の判	定 b。	
写真	覆工 スパン 番号	S002				写真	覆工 スパン 番号		S002			
番号	変状 番号	9			the team	番号	変状 番号		10			
変状	対象	覆工		1) <u>e</u> ats	03	変状	対象 箇所		覆工			
部位	部位区分	アーチ天端	1-1	+ 11		部位	部位 区分		5側壁			
	区分	材質劣化	5	-2111			区分		質劣化			
変状	種類	豆板(ジャンカ)				変状	種類		び割れ			
健全性	点検·					健全性	点検·詢					
赤地の	措置 ※生統用	直後 の規模 L×W=0.05m×0.3m				赤生の	措置		最大幅0.2mm			
	完主戦団 点検時の		力) × L×W=0.05	m v 0 3m			光主戦世 点検時の		取入幅U.ZMM			
	点 (大) 同查 (方)	·		実施状況(実施日)			查(方針		_		実施状況(実施日)	-
	置(方金			実施状況(実施日)			置(方針		_		実施状況(実施日)	-
	<u> </u>	<u>'/ </u>						-	L 部に縦断方向]ひび割れ。対策		
			施した場合は「宝」							けるの実施状		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

	***********	サクタス	ベイドウ		路線名	作田防災ダム線	占給對	≰者·点枝	全全	(株)復建技術コン	/サルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
	,,,			-		七戸町		者·調査技		(10,112,211,111)	***************************************	調査年月日	-
台		TF田隧	坦		官理有名		胡宜耒1		例有石		-	調宜年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	5	8002	Service of	-31		写真	覆工 スパン 番号	;	S002			
番号	変状 番号		11		6	80	番号	変状 番号		12			•
変状	対象箇所	:	覆工				変状	対象 箇所		路面			
部位	部位区分	•	側壁		1		部位	部位 区分		車道		草水・tをり (PLE2372
	区分		漏水				変状			漏水		0.5×2.1	2
変状	種類		(にじみ)	100			変状	種類		滞水			
健全性	措置						健全性	点検·語 措置	後				
			1.0m × 0.1m							$0.5m \times 2.1m$			
	点検時の							点検時の					
	1査(方針		-		実施状況(実施日)) -		査(方針		-		実施状況(実施日)	-
挂	置(方金		継続監視		実施状況(実施日)		措	置(方針		継続監視		実施状況(実施日)	-
人	Ŧ	右側壁部	部に目地部か	らの漏水(にじみ)。対策区分の	判定 b。	人		路面に流	带水。土砂堆	積を含む。 対策[区分の判定 b。	
写真	覆工 スパン 番号	S	8002				写真	覆工 スパン 番号	;	S003		Alleman	
番号	変状 番号		13		1	00	番号	変状 番号		1	a d		
変状 部位	対象箇所	l	路面				変状 部位	対象 箇所		覆工	11/2		
	部位区分		車道			V-PD		部位 区分		アーチ			
	区分		漏水		~革水元石	少(影+2)		区分		漏水		TO II O	
変状	種類		滞水			07116	変状	種類		く(にじみ)	A PORTOR OF THE		
健全性	点検・ 措置	調査後 置後			1 5		健全性	点検·i 措置					
変状の	発生範囲	囲の規模	0.7m × 1.6m				変状の	発生範囲	の規模	3.2m × 0.8m			
			i					点検時の		漏水(にじみ)			
部]査(方針	†)	-		実施状況(実施日)) -	語	查(方針		-		実施状況(実施日)	-
挂	置(方金	+)	継続監視		実施状況(実施日) -	挂	置(方針)	継続監視		実施状況(実施日)	-
X	ŧ	路面に流	带水。 土砂堆	 漬を含む。 対策区						チ部に漏水(に	じみ)。対策区分	 うの判定 b。	
				布した場合は 実							は、その実施状況		: 天分 オスニレ

	X X X X	サクタス	マハラ兵ロブイドウ		路線名	作田防災ダム線	占垛3	≰者·点核	全字夕	(株)復建技術コン	サルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
	,,,			-						(1水)1支圧1又111コン	970701 HIP HI		2010年9月10日
台		作田隧	.但		管理者名	七戸町	調宜業1	者·調査技	初首名	1	-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号		S003				写真	覆工 スパン 番号	;	S003			
番号	変状 番号		2	3	S		番号	変状 番号		3		00	1
変状	対象箇所		覆工		4	0	変状	対象 箇所		覆工		1	
部位	部位区分		上側壁			04月	部位 	部位区分		アーチ	***	20×0.05	
	区分		質劣化				変状			質劣化		3 1 -	
変状	種類		び割れ				変状	種類		也材劣化		1	
健全性	措置						健全性	点検·記 措置	後				
変状の	発生範囲	間の規模	最大幅1.0mm							L × W=12.1m × 0.05m			
前回.	点検時の)状態	ひび割れ	最大幅1.0mm				点検時の					
	首(方針		-		実施状況(実施日)	-	語	査(方針	-)	-		実施状況(実施日)	-
挂	昔置(方金	†)	継続監視		実施状況(実施日)	-	挂	置(方針	-)	-		実施状況(実施日)	-
人	ŧ	左側壁部に	横断方向ひび割れ	1。進行は認められないか	がひび割れ幅が若干メ	きい事から、対策区分の判定 b。	人	Ŧ	アーチ音	部に目地材の	劣化。対策区分(の判定。	
写真	覆工 スパン 番号		S003				写真	覆工 スパン 番号	;	S003	Marine Control		
番号	変状 番号		4		00		番号	変状 番号		5			
変状	対象箇所		覆工				変状 部位	対象 箇所		覆工			
部位	部位区分		アーチ		自地村			部位 区分		-チ天端			
	区分		漏水		1/4		变状			質劣化			
変状	種類		K(にじみ)	7.0×	005	A TOP A SECOND	变状	種類		濁音			
健全性	点検· 措置	調査後 置後		2.0 %	4-12		健全性	点検·記 措置					+01
変状の	発生範囲	目の規模	1.0m × 0.2m				変状の	発生範囲	の規模	L × W=2.4m × 0.6m			
前回.	点検時の)状態					前回	点検時の	状態	濁音 × L×	<i>N</i> =2.4m × 0.6m		
部	直(方針	†)	-		実施状況(実施日)	-	調	査(方針	-)	-		実施状況(実施日)	-
挂	貴置(方金	†)	継続監視		実施状況(実施日)	-	措	置(方針	-)	継続監視		実施状況(実施日)	-
X	Ŧ	左アー	チ部に目地部	からの漏水(にじる	み)。対策区分(D判定 b。	Х	Ŧ	アーチラ	天端横断目地	部に濁音。対策[区分の判定 b。	
	t_ t_	土芯し	始古」を中	施した場合は、実	佐後の尸吉な	たけ オスニレ		広台	计学长	宇体した担合	は、その実施状況	ロがひかを写すれ	に法付すること

2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- 調査年月日
写真 番号 S003 変状 番号 6 変状 番号 6 変状 箇所 覆工 部位 区分 アーチ天端 変状区分 材質劣化 変状区分 材質劣化 S003 番号 変状 一方 変状 一方 変状区分 材質劣化	
変状 番号 6 変状 対象 箇所 窓口 部位 区分 アーチ天端 変状区分 材質劣化 変状区分 材質劣化 変状区分 材質劣化 変状区分 材質劣化	
変状 箇所 復工 部位 アーチ天端 変状区分 材質劣化 変状区分 材質劣化 変状区分 材質劣化 変状区分 対質劣化	
で状区分 オ質劣化 で状区分 オ質劣化	
変状種類 は〈落 変状種類 漏水(にじみ)	
健全性 点検·調査後 ### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	
変状の発生範囲の規模 LxW=0.3m×0.3m 変状の発生範囲の規模 3.5m×0.1m	
前回点検時の状態 は〈落 x L x W=0.3m x 0.3m 前回点検時の状態 漏水(にじみ) -	
調査(方針) - 実施状況(実施日) - 調査(方針) -	実施状況(実施日) -
措置(方針) - 実施状況(実施日) - 措置(方針) 継続監視	実施状況(実施日) -
メモ アーチ天端部には〈落(木片混入)。対策区分の判定 。 メモ 右アーチ部に漏水(にじみ)。対策区	区分の判定 b。
覆工 スパン 写真 番号 S003 写真 番号 S003	
番号 変状 番号 8	
変状 対象	- XOX + -> 8
部位 部位 部位 部位 部位 お位 区分 オアーチ	7.3
安状区分 材質劣化	
変状種類 閉合ひび割れ 変状種類 ひび割れ	
健全性	
変状の発生範囲の規模 LxW=0.05mx0.05m 変状の発生範囲の規模 最大幅0.6mm	
前回点検時の状態 ひび割れ × L×W=0.05m×0.05m 前回点検時の状態 ひび割れ × 最大幅0.6mr	n
調査(方針) - 調査(方針) - 調査(方針) -	実施状況(実施日) -
措置(方針) 継続監視 実施状況(実施日) - 措置(方針) -	実施状況(実施日) -
メモ アーチ天端部に閉合ひび割れ。周辺に打音異常なし。対策区分の判定 b。 メモ 右アーチ部に横断方向ひび割れ。	対策区分の判定。

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

フリ:	ガナ	サクタス	、 イドウ		路線名	作田防災ダム線	点検賞	€者·点标	食者名	(株)復建技術コン	/サルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
		作田隧	道		管理者名	七戸町	調査業績	者·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	5	6003				写真番号	覆工 スパン 番号		S003			
番号	変状 番号		10				番号	変状 番号		11			
変状	対象 箇所	-	覆工		1	20	変状	対象 箇所		路面			
部位	部位 区分		间壁				部位	部位 区分		車道			
変状			質劣化					区分		漏水	3	海火(九万)	(何なななまけり)
変状			び割れ	-	1		変状	種類		滞水		UTACIO	
健全性	点検·記 措置						健全性	点検·語 措置					
変状の			最大幅2.0mm				変状の			0.9m × 2.0m			
	点検時の		i	最大幅2.0mm				点検時の					
調		-)	-		実施状況(実施日)) -	語	查(方針	h)	-		実施状況(実施日)	=
	 置(方針		継続監視		実施状況(実施日)) -		 置(方針		継続監視		実施状況(実施日)	-
Х	Ŧ	右側壁部に	横断方向ひび割れ	。進行は認められないか	びび割れ幅が若干さ	大きい事から、対策区分の判定 b。	Х	Ŧ	路面に	带水。土砂堆	積を含む。対策[区分の判定 b。	
写真	覆工 スパン 番号	5	6004				写真	覆工 スパン 番号	,	S004			
番号	変状 番号		1		0		番号	変状 番号		2			
変状	対象 箇所	į	覆工			2	変状	対象 箇所		覆工			
部位	部位 区分	左	三側壁	14-4			部位	部位 区分	左	アーチ			
変状			質劣化					区分		質劣化			
変状			び割れ		182		変状	種類		K(にじみ)			
健全性	点検·i			The state of the s	AVIT	3	健全性	点検·i					•
	措置		B 1 +=					措置					
			最大幅0.8mm	目土幅0.0						0.7m×0.1m			
	点検時の 調査(方針		ひび割れ	最大幅0.8mm 	実施状況(実施日))		点検時の 計査(方針		漏水(にじみ)	-	実施状況(実施日)	
	ョュ(クェ) 諸置(方針		-		実施状況(実施日)			直(クェ 置(方針		- 継続監視		実施状況(実施日)	_
			- 収に構態を向	 ひび割れ。対策		<u> </u>	JE V		-		こじみ)。対策区分		-
				のひ割16。対象1		エムナファー					- しの)。対象区が		->= / I = - I

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

2	5 年月日 -
覆工	3 4 L 8 1 9 1 4 L
変状 番号 3 変状 節所 第位	
変状 箇所 復工 部位 アーチ 変状区分 材質劣化 変状種類 目地材劣化 健全性 点検・調査後 変状の発生範囲の規模 LxW=12.1mx.0.05m 変状の発生範囲の規模 LxW=0.1mx.0.1m	6 4 L
変状区分 材質劣化 変状種類 目地材劣化 健全性 点検・調査後 変状の発生範囲の規模 LxW=121mx 0.05m 左アーチ 変状区分 材質劣化 変状種類 は〈落 健全性 点検・調査後 変状の発生範囲の規模 LxW=0.1mx 0.1m	
変状種類 目地材劣化 健全性 点検・調査後 選状の発生範囲の規模 LxW=12.1mx 0.05m 変状の発生範囲の規模 LxW=0.1mx 0.1m	
健全性 点検・調査後 変状の発生範囲の規模 LxW=121mx0.05m で状の発生範囲の規模 LxW=0.1mx0.1m	
健全性 措置後 変状の発生範囲の規模 LxW=121mx 0.05m 変状の発生範囲の規模 LxW=0.1mx 0.1m	10 p. 2 m 2m
前回点検時の状態 うき x L x W=0.1m x 0.1m	
	代況(実施日) -
	祝(実施日) 2018年9月18日
メモ アーチ部に目地材の劣化。対策区分の判定 。 メモ 左アーチ部のうきに対して、はつり落しを実施し から	。次回点検時確認を行う事が望ましい。
覆工 スパン 写真 番号 S004 写真 番号 S004	
番号	
対象	是 样
プーチ天端 フーチ天端	
<u> </u>	
変状種類 ひび割れ 変状種類 漏水(にじみ)	113
健全性 点検·調査後 ####################################	
変状の発生範囲の規模 最大幅0.5mm 変状の発生範囲の規模 1.8m×0.3m	
前回点検時の状態 ひび割れ 最大幅0.5mm 前回点検時の状態 漏水(にじみ) -	
	代況(実施日) -
332(32)	代況(実施日) -
メモ アーチ天端部に縦断方向ひび割れ。対策区分の判定 。 メモ 右側壁部に漏水(にじみ)。対策区分の判定 たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写直を添付すること	' h

ווד		サクタス	ベイドウ		路線名	作田防災ダム線	点検第	€者·点标	食者名	(株)復建技術コン	/サルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
		 作田隧	道		 管理者名	七戸町	調査業者	≛·調査技	術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号		S004	Leading 1			写真	覆工 スパン 番号	:	S004		72 2	
番号	変状 番号		7				番号	変状 番号		8			
変状	対象箇所		覆工	10 to	天井(**		変状	対象 箇所		路面	X		
部位	部位区分	•	5側壁	-			部位	部位 区分		車道	4	08423	
	区分		質劣化		11			区分		漏水		0.8x2.5 (6主·水代	(侧车)
変状	種類		び割れ	San			変状	種類		滞水		7 7 17 17	26411A
健全性	措置	置後					健全性	点検·語 措置	後				
			最大幅0.7mm							$0.8m \times 2.3m$			
	点検時の		ひび割れ	最大幅0.7mm				点検時の					
	直(方針		-		実施状況(実施日)	-		査(方針		-		実施状況(実施日)	-
	置(方金		-		実施状況(実施日)	-		置(方針		継続監視		実施状況(実施日)	-
Х		右側壁	部に横断方向	ひび割れ。対策	区分の判定。		Х		路面に	带水。土砂堆	積を含む。対策区	区分の判定 b。	
写真	覆工 スパン 番号	;	S005				写真	覆工 スパン 番号	;	S005			
番号	変状 番号		1				番号	変状 番号		2			
変状 部位	対象箇所		覆工	03/ 5-5		1	変状 部位	対象 箇所		覆工			
	部位区分		アーチ		5.41			部位 区分		三側壁		10.5	
	区分		漏水	7 18 UX				区分		質劣化		. /	
变状	種類		く(にじみ)	1			変状	種類		び割れ			A STATE OF THE STA
健全性	点検· 措置	調査後 置後					健全性	点検· 措置					
変状の	発生範囲	囲の規模	2.7m × 0.5m				変状の	発生範囲	の規模	最大幅0.8mm			
前回	点検時の)状態					前回	点検時の	状態	ひび割れ	最大幅0.8mm		
部	直(方針	. ,	-		実施状況(実施日)	-	調	査(方針	-)	-		実施状況(実施日)	-
措	置(方針	†)	継続監視		実施状況(実施日)	-	措	置(方針	-)	-		実施状況(実施日)	-
Х	Ŧ	左アーラ	チ部に漏水(に	じみ)。遊離石灰	を伴う。対策区	分の判定 b。	X	Ŧ	左側壁	部に横断方向	ひび割れ。対策	区分の判定 。	
	t_ t_	- 七芯し!	佐古 太宝	施した場合は、実	佐後の戸古た	を付す フェレ		広点	++	中佐しも担合	は、その実施状況	ロがハムフマウ	- 法 仕士ァート

フリ:	ガナ	サクタズイドウ		路線名	作田防災ダム線	点検美	€者·点标	食者名	(株)復建技術コ	ンサルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
名	称	作田隧道		管理者名	七戸町	調査業	者·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	S005			Sales of the sales	写真番号	覆工 スパン 番号	,	S005			
番号	変状 番号	3				番号	変状 番号		4	7:24		
変状	対象 箇所	覆工		日本沙		変状	対象箇所		覆工		26	A P
部位	部位区分	アーチ				部位	部位 区分	アー	- チ天端			
変状		材質劣化					区分		質劣化	1 1 3 6 1 5		
変状	種類	目地材劣化		-		変状	種類		び割れ			
健全性	点検·記 措置			Description of the Control of the Co		健全性	点検· 措置				The state of the s	
変状の	発生範囲	の規模 L×W=12.1m×0.05m				変状の	発生範囲	の規模	最大幅0.8mm	<u> </u>		
前回	点検時の	状態				前回	点検時の)状態	ひび割れ	最大幅0.8mm		
調	査(方針	-) -		実施状況(実施日) -	諺	査(方針	†)	-		実施状況(実施日)	=
措	置(方針	-) -		実施状況(実施日) -	措	置(方針	†)	-		実施状況(実施日)	-
У		アーチ部に目地材の剣	劣化。対策区分の	D判定 。		Х	Ŧ	アーチラ	天端部に横圏	f方向ひび割れ。	対策区分の判定	0
写真	覆工 スパン 番号	\$005				写真	覆工 スパン 番号	;	S005			
番号	変状 番号	5	To T	1/204	1-32	番号	変状 番号		6			
変状	対象箇所	覆工		York		変状	対象 箇所		覆工	5		0.3->0.8
部位	部位区分	右アーチ				部位	部位 区分	7	占側壁	1.7		
変状		漏水					区分		質劣化	ID OZXON	- Our	
変状	種類	漏水(にじみ)			4	変状	種類		び割れ		7	
健全性	点検·言 措置					健全性	点検· 措置					
変状の	発生範囲	の規模 5.4m×0.5m				変状の	発生範囲	の規模	最大幅0.8mm	 		
前回	点検時の	状態					点検時の		ひび割れ	最大幅0.3mm		
調	査(方針	-) -		実施状況(実施日) -	誹	査(方針	†)	-		実施状況(実施日)	-
措	置(方針	·) 継続監視		実施状況(実施日	-	措	置(方針	†)	-		実施状況(実施日)	-
Х	Ŧ	右アーチ部に漏水(に	じみ)。遊離石灰		 区分の判定 b。	Х	Ŧ	右側壁	部に横断方向	可ひび割れ。対策	区分の判定 。	
		き落とし、締首しを宝は		15/4 a 🖂 🛨 ± 1	T / 1			* * I * * *	<u> </u>	とけ その宝施状	- 444 44	

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

フリ	ガナ	サクタズイ	゚゚゚゚ドウ		路線名	作田防災ダム線	点検第	€者·点标	食者名	(株)復建技術コン	′サルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
		作田隧道	į		管理者名	七戸町	調査業	者·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	S0	05		3 LE 1.07 S		写真番号	覆工 スパン 番号		S005			
番号	変状 番号	7	7		5 5	0.3-08	番号	変状 番号		8		E	1019
変状部位	対象 箇所	覆	I		NOT		変状 部位	対象 箇所		覆工		80	
마까	部位区分	右側	則壁				마따	部位 区分	7	5側壁			
変状		材質					変状			漏水		7 4	THE REAL PROPERTY.
変状	種類	<u>څ</u>	き	0	M		変状	種類		K(にじみ)	in how	A STATE OF THE PARTY OF THE PAR	
健全性	点検·語 措置				7.00		健全性	点検·記 措置				12	
変状の	発生範囲	lの規模 L×	x W=0.6m × 1.0m				変状の	発生範囲	の規模	0.2m × 0.1m			
前回	点検時の	状態 う	き × L×W	=0.6m × 1.0m				点検時の		漏水(にじみ)			
調	查(方針	-) -			実施状況(実施日) -	調	査(方針	 	-		実施状況(実施日)	-
措	置(方針	-) 継	続監視		実施状況(実施日) -	措	置(方針	h)	継続監視		実施状況(実施日)	-
X	Ŧ	右側壁部	にうき。側壁	部であり落下の同	可能性は低い。	対策区分の判定 b。	Х	Ŧ	右側壁	. 部に漏水(にし	ジみ)。対策区分(の判定 b。	
写真	覆工 スパン 番号	S0	06				写真	覆工 スパン 番号		S006			
番号	変状 番号	1	1				番号	変状 番号		2			
変状	対象 箇所	覆	I	16-3		1	変状	対象 箇所		覆工		自村分	
部位	部位 区分	左側	壁				部位	部位 区分	7	アーチ		-6	No.
	区分	材質				1/20	変状			質劣化		IN O E	
変状	種類	ひび	割れ		19	1NO,7	変状	種類		也材劣化	-		
健全性	点検·記 措置				1/9		健全性	点検·記 措置					
変状の	:		大幅0.9mm				変状の			L x W=12.1m x 0.05m			
	点検時の			 最大幅0.9mm				点検時の					
	查(方針				実施状況(実施日) -		查(方針		-		実施状況(実施日)	-
	置(方針				実施状況(実施日) -		置(方針		-		実施状況(実施日)	-
			に横断方向		 区分の判定 。	_				部に目地材の:		 の判定 。	
			 	知った提合け 宝	たび ひ回 また	エムナファー		r÷ 4	11/1/-	;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;	け その宝施状		->= / I - - = -

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

フリ	ガナ	サクタズイドウ	路線行	名 作田防災ダム線	点検	業者·点	食者名	(株)復建技術コン	ソサルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
名	称	作田隧道	管理者	i名 七戸町	調査業	者·調査技	支術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	S006			写真	覆工 スパン 番号		S006	20	16	
番号	変状 番号	3			番号	変状 番号		4	61/19		
変状	対象 箇所	覆工			変状	対象		覆工			
部位	部位 区分	左アーチ			部位	部位区分	ア-	-チ天端			
	区分	材質劣化			1000	区分		質劣化		-19	
変状	種類	ひび割れ			変物	種類		び割れ			
健全性	点検· 措置				健全性	点検· 措置					
変状の	発生範囲	回の規模 最大幅0.2mm			変状の	発生範囲	間の規模	最大幅1.0mm			
	点検時の					点検時の		ひび割れ	最大幅1.0mm		
訓	查(方針	+) -	実施状況(写	€施日) -	È	間査(方針	†)	-		実施状況(実施日)	-
挂	置(方針		実施状況(写		扌	昔置(方金	†)	継続監視		実施状況(実施日)	-
Х	Ŧ	左アーチ部に縦横断	方向ひび割れ。対策区分の	D判定 。)	Ŧ	アーチ天端	部に横断方向ひび	割れ。進行は認められな	いがひび割れ幅が若干大	きい事から、対策区分の判定 b。
写真	覆工 スパン 番号	\$006		1	写真	覆工 スパン 番号	;	S007			
番号	変状 番号	5			番号	変状 番号		1			
変状	対象	覆工		12	変状	対象		覆工		S.co.S.	
部位	部位 区分	右側壁			部位	部位区分		上側壁		+ +	
	区分	材質劣化	A STATE OF	140,6		区分		質劣化		1	
変状	種類	ひび割れ	1	3	変物	種類		び割れ			
健全性	点検· 措置			The state of the s	健全性	点検· 措置	調査後 置後				
変状の	発生範囲	の規模 最大幅1.2mm			変状の	発生範囲	即の規模	最大幅1.0mm	<u> </u>		
前回	点検時の)状態 ひび割れ	最大幅1.2mm		前回	点検時の)状態	ひび割れ	最大幅1.0mm		
訓	查(方針	t) -	実施状況(写	実施日)-	İ	間査(方針	†)			実施状況(実施日)	
措	置(方針	計) 継続監視	実施状況(写	実施日)-	- 扌	昔置(方金	†)	継続監視		実施状況(実施日)	-
Х	Ŧ		れ。進行は認められないがひび割れ幅が		b. >	ŧ				がひび割れ幅が若干大き	い事から、対策区分の判定 。

フリン	ガナ	サクタズイドウ		路線名	作田防災ダム線	点検美	業者·点村	食者名	(株)復建技術コ	ンサルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
名	称	作田隧道		管理者名	七戸町	調査業	者·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	\$007			01403	写真番号	覆工 スパン 番号	,	S007			
番号	変状 番号	2			Z) 2 8	番号	変状 番号		3		ar //	3.5
変状	対象 箇所	覆工		(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	T 4-	変状	対象箇所		覆工			8x04
部位	部位区分	アーチ		1)		部位	部位区分	左	アーチ		SIZA	
変状		材質劣化					区分	材	質劣化		37/51	. 5-970
変状		目地材劣化				変状	種類		うき			101000
健全性	点検·i 措置			1		健全性	点検· 措置					A
変状の	発生範囲	の規模 L×W=12.1m×0.05m				変状の	発生範囲	の規模	L × W=0.8m × 0.4m	1		
前回,	点検時の)状態				前回	点検時の)状態	うき × L×V	W=0.8m × 0.4m		
調]査(方針	t) -		実施状況(実施日) -	誹	直(方針	†)	-		実施状況(実施日)	-
措	調査(方針) - 措置(方針) -			実施状況(実施日) -	拮	置(方針	†)	重点監視·詢	計画的対策	実施状況(実施日)	-
*		アーチ部に目地材の多	5化。対策区分の	D判定 。		Х		左アーチ部	『にひび割れ沿り	のうき。重点的に監視を	を行い計画的な対策を	要する。対策区分の判定 a。
写真	覆工 スパン 番号	S007				写真	覆工 スパン 番号	;	S007			
番号	変状 番号	4	19		7/29-1	番号	変状 番号		5			
変状	対象 箇所	覆工			0.8 x 0.8	変状	対象		覆工			62/1/2
部位	部位区分	左アーチ			STILL STILL	部位	部位区分		- チ天端			
变状		漏水					区分		質劣化			
変状		漏水(にじみ)				変状	種類		び割れ		1	
健全性	点検·言 措置			effect,		健全性	点検· 措置					
変状の		の規模 0.2m×0.6m				変状の	 発生範囲	の規模	最大幅1.0mm	1		
	点検時の		-						ひび割れ	 最大幅1.0mm		
調]査(方針	+) -		実施状況(実施日) -	諺	査(方針	†)	-		実施状況(実施日)	-
措	置(方針	継続監視		実施状況(実施日) -	措	置(方針	†)	継続監視		実施状況(実施日)	-
X	Ŧ		じみ)。遊離石灰		 区分の判定 b。	Х	Ŧ	アーチ天端	- 部に横断方向ひび	割れ。進行は認められない	ハがひび割れ幅が若干大	きい事から、対策区分の判定 b。
				施後の写直を				. 1 l /// -	⇔ 4-1 + 10 /	≥け その宝施状	- 130 11	

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

フリ	ガナ	サクタス	(イドウ		路線名	作田防災ダム線	点検第	€者·点标	食者名	(株)復建技術コン	/サルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
名	称	作田隧	道		管理者名	七戸町	調査業者	≰·調査技	術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	5	8007		10 march 200 days		写真番号	覆工 スパン 番号		S007			
番号	変状 番号		6		(505)		番号	変状 番号		7			
変状	対象 箇所	:	覆工			YD THE	変状	対象 箇所		覆工			AOS
部位	部位 区分		アーチ				部位	部位 区分		与側壁		7	
	区分		漏水				変状			質劣化		3200	THE WASHINGTON
変状	種類		く(にじみ)				変状	種類		び割れ			
健全性	点検· 措置						健全性	点検·記 措置					
変状の	発生範囲	囲の規模	0.2m × 0.5m				変状の	発生範囲	の規模	最大幅1.2mm			
前回	点検時の	D状態	漏水(にじみ)	-			前回	点検時の	状態	ひび割れ	最大幅1.2mm		
調	査(方針	+)	-		実施状況(実施日)	-	調	査(方針	-)	-		実施状況(実施日)	=
措	置(方針	†)	継続監視		実施状況(実施日)	-	措	置(方針	-)	継続監視		実施状況(実施日)	-
Х		右アーチ	←部に漏水(に	じみ)。遊離石友	でを伴う。対策区	分の判定 b。	Х		右側壁部に	横断方向ひび割れ	1。進行は認められない	がひび割れ幅が若干大	きい事から、対策区分の判定 b。
写真	覆工 スパン 番号		8008				写真	覆工 スパン 番号		S008	and the second		
番号	変状 番号		1				番号	変状 番号		2			
変状	対象 箇所	:	覆工			23	変状	対象 箇所		覆工			
部位	部位 区分		アーチ				部位	部位 区分	2	上側壁	109 1.40		
	区分		漏水				変状			質劣化			1
変状	種類		く(にじみ)			A comment	変状	種類		び割れ			
健全性	点検·記 措置			-		A STATE OF THE PARTY OF THE PAR	健全性	点検·記 措置			HI CONTRACTOR		
変状の	:		1.0m × 0.5m				変状の			最大幅0.3mm			
	点検時の		漏水(にじみ)	-				点検時の			<u>:</u>		
語	查(方針		- , ,		実施状況(実施日)	-	調	查(方針	-)	-		実施状況(実施日)	-
措	置(方針	†)	継続監視		実施状況(実施日)	-	措	置(方針	-)	-		実施状況(実施日)	-
Х	Ŧ	左アーチ	・部に漏水(に	じみ)。遊離石友	でを伴う。対策区	分の判定 b。	Х	Ŧ	左側壁	- 部に縦断方向	可ひび割れ。対策	区分の判定 。	
			/ 		(施後の写直を)	E / I I		r÷ 4	11///-	<u> </u>	け その宝施状	- 430 4	->= / I - - I

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

フリ	ガナ	サクタズイドウ		路線名	作田防災ダム線	点検美	業者·点村	食者名	(株)復建技術コン	ンサルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
名		作田隧道	-	管理者名	七戸町	調査業	者·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	\$008				写真番号	覆工 スパン 番号		S008			
番号	変状 番号	3				番号	変状 番号		4	1		
変状	対象 箇所	覆工	14/5			変状	対象		覆工			
部位	部位 区分	アーチ				部位	部位区分	左	アーチ			
変状		材質劣化	The same		Via The Control of th		区分		漏水	The same of the sa		
变状		目地材劣化		1	NIE -	変状	種類		K(にじみ)	14/	10	
健全性	点検·i 措置			-		健全性	点検· 措置			-		V
		の規模 L×W=12.1m×0.05m							1.0m × 0.1m			
							点検時の					
	T回点検時の状態 調査(方針) - 措置(方針) -			実施状況(実施日)	-		査(方針		-		実施状況(実施日)	-
措				実施状況(実施日)) -		置(方金	,	継続監視		実施状況(実施日)	-
メ		アーチ部に目地材の	劣化。対策区分 位	D判定 。		Х		左アーチ	・部に目地部2	からの漏水(にじみ)。遊離石灰を伴う	b。対策区分の判定 b。
写真	覆工 スパン 番号	S008	**************************************		9.00 a 30 a	写真	覆工 スパン 番号		S008			
番号	変状 番号	5	5-	7	N/bdu S	番号	変状 番号		6			
変状	対象 箇所	覆工	7	0.	X03 -	変状	対象		覆工	7 7 7 7 7	100 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	¥8
部位	部位 区分	左アーチ				部位	部位区分		- チ天端			
変状		材質劣化	13 144		and the second second second		区分		質劣化			77,000
変状		うき(補修部)	13-47		76 4	変状	種類		び割れ			
健全性	点検・語 措置		A		4	健全性	点検· 措置					Children of the state of the st
変状の	-	の規模 L×W=0.1m×0.3m				変状の			最大幅0.8mm			
前回,	点検時の	状態 うき × L×W	=0.1m × 0.3m				点検時σ		ひび割れ	最大幅0.8mm		
調	査(方針	-) -		実施状況(実施日)) -	諺	査(方金	†)	-		実施状況(実施日)	-
措	置(方針	-) 継続監視		実施状況(実施日)	-	挂	置(方金	h)	-		実施状況(実施日)	-
X	Ŧ	左アーチ部にうき。アーチ	部であるが、早期に	よ〈落の可能性は	低い。対策区分の判定 b。	Х	Ŧ	アーチラ	天端部に横断	f方向ひび割れ。	対策区分の判定	0
				施後の写直を	T / 1 1	•		1144-4		とけ その宝施状	- 444 44	

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

フリ:	ガナ	サクタズイド	゚ヷ		路線名	作田防災ダム線	点検賞	€者·点标	食者名	(株)復建技術コン	ソサルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
名		作田隧道			管理者名	七戸町	調査業	者·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	\$008	8		11	1 1000	写真番号	覆工 スパン 番号	;	S008		4	
番号	変状 番号	7					番号	変状 番号		8			
変状	対象 箇所	覆工	-				変状	対象 箇所		覆工		08	
部位	部位 区分	右アー					部位	部位区分		占側壁			407
変状		漏水			4			区分		質劣化			
変状		漏水(に	じみ)				変状	種類		び割れ	-		
健全性	点検・語 措置						健全性	点検·記 措置					
本状の		1度 の規模 5.3r	m v 0 2m				本状の			最大幅0.8mm	i		
	点検時の		M X 0.2111 K(にじみ)	_				点検時の		ひび割れ	<u>!</u> 最大幅0.8mm		
	查(方針		11(12 007)		実施状況(実施日) -		查(方針		-	1X7 (1H 0.011111	実施状況(実施日)	-
	置(方針		 売監視		実施状況(実施日			置(方針		-		実施状況(実施日)	-
Х	ŧ	右アーチ部	に漏水(にし	 じみ)。遊離石友		 区分の判定 b。	Х	ŧ	右側壁	部に横断方向	可ひび割れ。対策	区分の判定 。	
写真	覆工 スパン 番号	\$009	9				写真	覆工 スパン 番号	ţ	S009			
番号	変状 番号	1		72			番号	変状 番号		2			1
変状	対象 箇所	覆工	-			Yo.9	変状	対象 箇所		覆工			
部位	部位 区分	左側					部位	部位区分		-チ天端			
変状		材質劣			3			区分		質劣化			
変状		ひび割	れ				変状	種類		び割れ			
健全性	点検·詢			1			健全性	点検·討			Maria - Alica		Control of the Contro
亦业企	措置	i後 の規模 最大	- m= 4 0				亦业の	措置		最大幅0.4mm			
	光生軋世 点検時の							完全 配置 点検時の		_{最大幅0.4mm} ひび割れ	<u>!</u> 最大幅0.4mm		
	点候時の 査(方針		ア西が16 耳	双八門 ころ!!!!!!	実施状況(実施日) -		点候时0. 1査(方針		- 0 日16		実施状況(実施日)	_
	置(方針		売監視		実施状況(実施日			置(方金		_		実施状況(実施日)	-
		-		進行は認められないが		' 大きい事から、対策区分の判定 b。				L に端部に構断	方向ひび割れ。対		
	_				施後の写直を		ll ,				けるの宝施状		· ->= /!= - !

フリン	ガナ	サクタズイドウ		路線名	作田防災ダム線	点検賞	業者·点村	食者名	(株)復建技術コン	ンサルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
		作田隧道		管理者名	七戸町	調査業	者·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	S009				写真番号	覆工 スパン 番号	,	S009			
番号	変状 番号	3				番号	変状 番号		4			
変状	対象 箇所	覆工		重 物		変状	対象箇所		覆工		10	6
部位	部位区分	左アーチ	Y			部位	部位 区分		占側壁		4 1	
変状		漏水			AIRT THE		区分		質劣化	200		A Transport of the
変状		漏水(にじみ)	1			変状	種類		び割れ			
健全性	点検·語 措置					健全性	点検·記 措置					
変状の		1の規模 3.3m×0.6m				変状の:			最大幅0.6mm			
	点検時の						点検時の		ひび割れ	<u>.</u> 最大幅0.6mm		
	查(方針			実施状況(実施日) -		查(方針		-	ду (тдого	実施状況(実施日)	-
	置(方針			実施状況(実施日) -		置(方針		-		実施状況(実施日)	-
X	Ŧ	<u> </u>	じみ)。遊離石灰	を伴う。対策区	 【分の判定 b。	Х	Ŧ	右側壁	部に横断方向	可ひび割れ。対策	区分の判定 。	
写真	覆工 スパン 番号	\$009				写真	覆工 スパン 番号	,	S010	4	A A	
番号	変状 番号	5			*	番号	変状 番号		1	N N		
変状	対象 箇所	路面		9	100 / CONT.	変状	対象 箇所		覆工		706	
部位	部位区分	車道	1			部位	部位 区分		三側壁		*	
変状		材質劣化	1/21				区分		質劣化			
変状		ひび割れ	Property land			変状	種類		び割れ			
健全性	点検·i 措置					健全性	点検·語 措置			-	-	
		の規模 L×W=0.6m×3.6m							最大幅0.6mm			
	点検時の		-				点検時の		ひび割れ	最大幅0.6mm		
	査(方針			実施状況(実施日			查(方針		=		実施状況(実施日)	-
	置(方針	,		実施状況(実施日			置(方針	-	-		実施状況(実施日)	-
メ		路面に亀甲状ひび割き落とし、締直しを宝				X				可ひび割れ。対策 ミは、その実施状		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

ווד	ガナ	サクタズ	イドウ		路線名	作田防災ダム線	点検賞	€者·点	6者名	(株)復建技術コン	/サルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
		 作田隧道	首		————— 管理者名	七戸町	調査業	者·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号		010			and the same of th	写真	覆工 スパン 番号		S010		1 - Y	
番号	変状 番号		2				番号	変状 番号		3	9	12	3
変状	対象	7	夏工	50	月		変状	対象 箇所		覆工	力		7x02
部位	部位区分		ーチ				部位	部位区分		アーチ	车间	Hi () (8)
	区分		質劣化					区分	材	質劣化	SHOW THE .	(0)	
変状	種類		材劣化		- la-safe		変状	種類		うき	- D	1.8	
健全性	措置	調査後 置後					健全性	点検・ 措置	置後				
			. × W=12.1m × 0.05m							L × W=0.7m × 0.2m			
	点検時の							点検時の					
	査(方金	-	-		実施状況(実施日			査(方金		-		実施状況(実施日)	-
	置(方金		-		実施状況(実施日) -		置(方金		重点監視·討		実施状況(実施日)	-
	Ŧ 	アーチ部	に目地材の多	5化。対策区分	の判定。		Х	Ŧ ——	左アーチ音	『にひび割れ沿い	のうき。重点的な監視	を行い計画的に対策を	要する。対策区分の判定 a。
写真	覆工 スパン 番号	S	010		0.00		写真	覆工 スパン 番号		S010			
番号	変状 番号		4				番号	変状 番号		5			E / //
変状 部位	対象	7	夏工	(10-	*	(A)	変状	対象 箇所		覆工	C10 .		
	部位区分		アーチ			(2) (4)	部位	部位区分		- チ天端			
	区分		質劣化	1 051) ja	5-10		区分		質劣化			
変状	種類		うき	A STATE OF		ativation and the	変状	種類		び割れ			
健全性	点検· 措置	調査後 置後					健全性	点検· 措置					
変状の	発生範囲	囲の規模し	× W=0.6m × 0.2m				変状の	発生範囲	の規模	最大幅0.3mm			
前回.	点検時の	D状態	うき × L×W	$=0.6$ m $\times 0.2$ m			前回	点検時の)状態	ひび割れ	最大幅0.3mm		
部	直(方針	+)	-		実施状況(実施日		訓	査(方針	t)	-		実施状況(実施日)	-
挂	置(方針	計) I	重点監視·計	画的対策	実施状況(実施日) -	措	置(方金	†)	-		実施状況(実施日)	-
X	Ŧ	左アーチ部	にうき(内部木片)。重点的な監視を	行い計画的に対策を	E要する。対策区分の判定 a。	X	Ŧ	アーチ	天端部に縦断	方向ひび割れ。	対策区分の判定	0
	t_ t_	ことなし	佐古! 女宝社	cltl	『施後の写直を	そ 付 オットレ		rt e	3 3 1 25 ±	ウ佐しも担合	は ての中体性	況が分かる写直を	法サナファレ

フリ	ガナ	サクタズイドウ		路線名	作田防災ダム線	点検賞	業者·点	食者名	(株)復建技術コン	ンサルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
名		作田隧道		管理者名	七戸町	調査業	者·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	S010		A	1000	写真番号	覆工 スパン 番号		S011		1	
番号	変状 番号	6				番号	変状 番号		1			
変状	対象箇所	覆工			5.5	変状	対象		覆工		- Les	天柱 No.tl
部位	部位区分	右側壁				部位	部位区分		三側壁			
変状		材質劣化					区分		質劣化			
変状		ひび割れ		1	1	変状	種類		び割れ			C Later
健全性	点検·i 措置		-			健全性	点検· 措置					
本状の		11度 の規模 最大幅0.5mm				本状の			最大幅0.6mm			
	たエ戦の 点検時の		<u>!</u> 最大幅0.5mm				元工戦の 点検時の		ひび割れ	<u>!</u> 最大幅0.6mm		
				実施状況(実施日)) -		直(方金		-	女 グく行曲 0.0111111	実施状況(実施日)	-
	調査(方針) - 措置(方針) -			実施状況(実施日			<u>-一()</u> 計置(方金		-		実施状況(実施日)	-
X	措置(方針) - メモ 右側壁部に横断方		可ひび割れ。対策[2	区分の判定 。		Х	ŧ	左側壁	部に横断方向	可ひび割れ。対策	 区分の判定 。	
写真	覆工 スパン 番号	S011				写真	覆工 スパン 番号		S011			
番号	変状 番号	2				番号	変状 番号		3			5
変状	対象箇所	覆工		Ascta & Ascta	100	変状	対象箇所		覆工		# >M	
部位	部位区分	アーチ	TO VAL		12	部位	部位区分		アーチ		XXXXXX	古面铁板
変状		材質劣化					区分		質劣化		D=005	200 78
変状		目地材劣化				変状	種類		材露出	STEAM		
健全性	点検·詩		11 15			健全性	点検·				AND FOR	100
赤生の	措置 张生統田	■後 の規模 L×W=12.1m×0.05m				亦业の	措置		L × W=0.2m × 0.1m			
	光生軋世 点検時の		!				完主戦団 点検時の			! V=0.2m × 0.1m		
	直(方針		3	実施状況(実施日)) -		画位(方金		- X LXV	V-0.2111 X 0.1111	実施状況(実施日)	-
	置(方針			実施状況(実施日)			昔置(方金		継続監視		実施状況(実施日)	-
		<u>/</u>			1					叩き落としを実施後、		L Bされた。対策区分の判定 b。
			施した提合け 宝		T/1-t-3-1					こけ その宝施状		

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

		サクタス	ズイドウ		路線名	作田防災ダム線	点検對	€者·点标	食者名	(株)復建技術コン	/サルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
		 作田隧	道		管理者名	七戸町	調査業績	者·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号		S011				写真	覆工 スパン 番号	:	S011			18 18 18
番号	変状 番号		4		5 68	Y	番号	変状 番号		5			
変状 部位	対象箇所		覆工	(3)			変状部位	対象 箇所		覆工	(J ₂		
	部位区分		アーチ					部位区分		- チ天端		0,1	1/5
	区分 種類		漏水 K(にじみ)					区分 種類		質劣化 (補修部)	Remain Aug T	- 04	11-2
交小		調査後	(に (み)	OF.			安小	性類 点検・記		(相)多司)			
健全性	措置						健全性	措置					
変状の	発生範囲	間の規模	3.0m × 0.2m				変状の	発生範囲	の規模	L × W=0.1m × 0.1m			
前回.	点検時の)状態					前回	点検時の)状態	うき × L×V	V=0.1m × 0.1m		
	直(方針		-		実施状況(実施日)	-		査(方針		-		実施状況(実施日)	-
挂	置(方金		継続監視		実施状況(実施日)		措	置(方針	†)	継続監視		実施状況(実施日)	-
火	Ŧ	左アーラ	チ部に漏水(に	じみ)。遊離石友	でを伴う。 対策区	「分の判定 b。	人		アーチ天	端部にうき。アー	- チ部であるが、早期 -	月は〈落の可能性は	低い。対策区分の判定 b。
写真	覆工 スパン 番号	,	S011				写真	覆工 スパン 番号		S011			Me transfer and the
番号	変状 番号		6		3		番号	変状 番号		7			
変状 部位	対象		覆工		06		変状	対象 箇所		覆工		0.0	Secretary of the second
	部位区分		- チ天端	-22		M. T.	部位	部位 区分		- 側壁	111		
	区分	材	質劣化		~A	10000		区分		質劣化	The state of the		54.8
変状	種類	国本化	うき			The same of the sa	変状	種類		び割れ			AND DESCRIPTION OF THE PERSON
健全性	点模·清 措置	調査後		A SHAPPER STATE	SCHOOL OF THE LOSS SERVED	MARKET AND AND AND AND AND ADDRESS OF THE PARTY OF THE PA	健全性	点検·i 措置				Markey Call Williams	
変状の			L × W=0.6m × 0.2m				変状の			最大幅0.6mm	i		
	点検時の		i	/=0.6m × 0.2m				点検時の		ひび割れ	<u>!</u> 最大幅0.6mm		
語	<u></u> 查 (方金	†)	-		実施状況(実施日)	-	語	查(方針	†)	-		実施状況(実施日)	-
挂	置(方金	†)	重点監視·計	·画的対策	実施状況(実施日	-		置(方針		-		実施状況(実施日)	-
Х	Ŧ	アーチ天站		1のうき。 重点的な監視	を行い計画的に対策	を要する。対策区分の判定 a。	Х	Ŧ	右側壁	部に横断方向	ひび割れ。対策	区分の判定 。	
	t_ t_	- 大芯し!	始古」を中 i	施した場合は 事	佐仏の宇古な	そ 付 す ァ = レ		広台	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 	ᅌᄯᆝᇵᆌᄼ	は、その実施状況	ロがハムフロ古も	·:

7117	フリガナ サクタズイドウ 名 称 作田隧道 第2 ボック S012			路線名	作田防災ダム線	点検美	業者·点核	食者名	(株)復建技術コンサノ	ルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
	,,,,			管理者名	七戸町	調査業	者·調査技	技術者名	_		調査年月日	-
写真		S012				写真	覆工 スパン 番号	(6012		752	Day and the same
番号	変状 番号	1				番号	変状 番号		2			
変状	対象 箇所	覆工		07		変状	対象 箇所		覆工		地址	
部位	部位 区分	左側壁				部位	部位 区分		7-5		(A)	
変状		材質劣化					区分		質劣化			
変状		ひび割れ			- Townson	変状	種類		材劣化	Lung-Aff		The state of the s
健全性	点検·記 措置	置後	-			健全性	措置	置後				
		の規模 最大幅0.7mm					発生範囲		L × W=12.1m × 0.05m			
	点検時の		最大幅0.7mm				点検時の					
	査(方針			実施状況(実施日)			1査(方針		-		実施状況(実施日)	-
	置(方針			実施状況(実施日)	-		置(方針		-		実施状況(実施日)	-
λ :		左側壁部に横断方[句ひび割れ。対策	区分の判定 。		メ		アーチ部	『に目地材の劣質	化。対策区分(の判定。	
写真	覆工 スパン 番号	\$012	11 14			写真	覆工 スパン 番号	5	8012	1418		
番号	変状 番号	3		₽ ²		番号	変状 番号		4			
変状 部位	対象 箇所	覆工				変状 部位	対象 箇所	}	覆工			
	部位区分	左アーチ	· Van				部位 区分	_	アーチ			
変状		材質劣化	MARINE SALES				区分		漏水			
変状		ひび割れ			to the say were the	変状	種類		(にじみ)		1	
健全性	点検·詰 措置			and the same		健全性	点検·記 措置			Section Section Section	-	
変状の多	発生範囲	の規模 最大幅0.4mm	1			変状の	発生範囲	の規模	1.9m × 0.2m			
前回。	点検時の	状態 ひび割れ	最大幅0.4mm			前回	点検時の)状態	漏水(にじみ)	-		
調	査(方針	+) -		実施状況(実施日)	-		1査(方針		-		実施状況(実施日)	-
措	置(方針	,		実施状況(実施日)		措	置(方針	,	継続監視		実施状況(実施日)	-
λ:	ŧ	左アーチ部に縦断方	向ひび割れ。対策	 仮図分の判定	0	メ	ŧ	左アーチ	-部に漏水(にじ	み)。遊離石が	を伴う。対策区2	分の判定 b。

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

フリガ		// m/ >-			路線名	作田防災ダム線	只快 身	Ě者·点₹	央百石	┃(休)假建技術コン	/サルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
		作田隧道	道		管理者名	七戸町	調査業績	当·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	S	012				写真	覆工 スパン 番号		S013		. (1)	
番号	変状 番号		5				番号	変状 番号		1	3		
変状	対象 箇所	7	夏工				変状	対象 箇所		覆工			0.5
部位	部位 区分	右	アーチ		NOV.		部位	部位区分	Ź	生側壁			
変状図			質劣化					区分		質劣化		/ •	
変状和			が割れ		7 - 14		变状	種類		び割れ			
健全性	点検·言 措置						健全性	点検· 措置				400	
変状の発			最大幅1.5mm				変状の			最大幅0.8mm			
	気検時の			最大幅1.5mm				点検時の		ひび割れ	: 最大幅0.8mm		
調	查(方針	+) -	-		実施状況(実施日) -	語	查(方針	†)	-		実施状況(実施日)	-
措	置(方針	†) *	継続監視		実施状況(実施日) -	措	置(方金	†)	-		実施状況(実施日)	-
۶ ۲	E	右アーチ部に	横断方向ひび割れ	1。進行は認められない	がひび割れ幅が若干力	大きい事から、対策区分の判定 b。	Х	Ŧ	左側壁	部に横断方向	可ひび割れ。対策	区分の判定 。	
写真	覆工 スパン 番号	S	013				写真	覆工 スパン 番号		S013			
番号	変状 番号		2		計		番号	変状 番号		3		132	
変状	対象 箇所	7	夏工		100		変状	対象 箇所		覆工			19
部位	部位区分		ーチ				部位	部位区分	左	アーチ			
変状図			質劣化	Control of the second				区分		漏水			
変状和			材劣化		THE STATE OF THE S		変状	種類		k(にじみ)	The second		
健全性	点検·i 措置			Andrew To Colonia	The same of the sa		健全性	点検· 措置					- Carlotte and Car
変状の発			× W=12.1m × 0.05m				変状の			2.8m × 0.2m			
	に検時の		;					点検時の			<u>i</u>		
調	 査(方針	+)	=		実施状況(実施日) -	語	查(方針	†)	-		実施状況(実施日)	-
措	置(方針	+)	-		実施状況(実施日) -	措	置(方金	†)	継続監視		実施状況(実施日)	-
F.K	E	アーチ部	に目地材の多	劣化。対策区分(の判定。		Х	Ŧ	左アー	チ部に漏水(こじみ)。遊離石友	灰を伴う。対策区:	分の判定 b。

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

フリ	ガナ	サクタズイドウ		路線名	作田防災ダム線	点検賞	€者·点核	食者名	(株)復建技術コン	ンサルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
名		作田隧道		管理者名	七戸町	調査業	者·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	\$013	800			写真番号	覆工 スパン 番号	;	S013			- Y
番号	変状 番号	4				番号	変状 番号		5			
変状	対象 箇所	覆工		A		変状部位	対象		覆工			
部位	部位 区分	右アーチ			1	교기고	部位区分	右	アーチ			
変状		材質劣化					区分		漏水		The state of the	
変状		ひび割れ			1	変状	種類		K(にじみ)	THE STATE OF THE S		
健全性	点検·記 措置					健全性	点検·i 措置			-	200	
変状の	発生範囲	の規模 最大幅0.4mm				変状の	発生範囲	の規模	0.5m × 0.1m			
前回,	点検時の	状態 ひび割れ	最大幅0.4mm			前回	点検時の	状態		•		
調	査(方針	-) -		実施状況(実施日) -	調	査(方針	-)	-		実施状況(実施日)	-
措	置(方針	-) -		実施状況(実施日) -	挂	置(方針	-)	継続監視		実施状況(実施日)	-
*	Ŧ	右アーチ部に横断方	向ひび割れ。対策	(区分の判定	0	Х	Ŧ	右アーラ	チ部に目地部	びからの漏水(にじ	み)。対策区分の	判定 b。
写真	覆工 スパン 番号	S013				写真	覆工 スパン 番号	;	S014			
番号	変状 番号	6		1		番号	変状 番号		1			
変状	対象 箇所	覆工		1-105	PA	変状	対象箇所		覆工		nte.	R
部位	部位 区分	右側壁	vos.			部位	部位 区分	ž	上側壁			
変状		材質劣化					区分		質劣化			Dec. Marie
変状		ひび割れ	A CONTRACTOR			変状	種類		び割れ		1	
健全性	点検・語 措置		The best of the last	-		健全性	点検·i 措置				ALCOHOL: NAME OF THE PARTY OF T	
変状の		の規模 最大幅0.5mm				変状の			最大幅0.8mm			
	点検時の		<u></u>				 点検時の		ひび割れ	<u>.</u> 最大幅0.8mm		
調	查(方針	-) -		実施状況(実施日) -		查(方針		-		実施状況(実施日)	-
	置(方針			実施状況(実施日) -		置(方針		-		実施状況(実施日)	-
X	Ŧ	 右側壁部に横断方向	 可ひび割れ。対策	区分の判定 。		X	Ŧ	左側壁	<u>.</u> 部に横断方向	可ひび割れ。対策	区分の判定 。	
		L-+	施した提合け 宝	*************************************	エムナファー		<u> </u>	11/1/	C) 45 4 18 4	≥け その宝施状	0 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2	->= / I - - I

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

ווד	ガナ	サクタズ・	イドウ		路線名	作田防災ダム線	点検第	€者·点标	食者名	(株)復建技術コン	/サルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
	称	 作田隧道	<u> </u>		—————— 管理者名	七戸町	調査業	当·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号		014				写真	覆工 スパン 番号	:	S014		4	
番号	変状 番号		2		AL		番号	変状 番号		3		251 - 41	
変状 部位	対象箇所	覆	工				変状部位	対象 箇所		覆工	-	1 08 03	}
	部位区分		アーチ					部位 区分		- チ天端			
	区分 : :種類		ia水 (にじみ)					区分 種類		<u>質劣化</u> ひび割れ	1000		
安小		調査後	(にしみ)		THE PAR		安仏	性無 点検・i		ひひ割れ		1	
健全性	措置						健全性	措置					
変状の).6m × 0.3m				変状の			L×W=0.4m×0.6m			
前回	点検時σ	D状態	i				前回	点検時の	状態	ひび割れ ×	L × W=0.4m × 0	.6m	
調	査(方金	it) -			実施状況(実施日)	-	調	査(方針	h)	-		実施状況(実施日)	-
拮	置(方針	計) 約	迷続監視		実施状況(実施日)	-	措	置(方針	†)	継続監視		実施状況(実施日)	-
Х	Ŧ	左アーチ	部に漏水(に	じみ)。遊離石	灰を伴う。対策区	「分の判定 b。	У	Ŧ	アーチラ	天端部に閉合	ひび割れ。周辺に	こ打音異常なし。	対策区分の判定 b。
写真	覆工 スパン 番号	SC	014				写真	覆工 スパン 番号		S015			
番号	変状 番号		4				番号	変状 番号		1	15		
変状 部位	対象	覆	<u> </u>		No. KL		変状 部位	対象 箇所		覆工	03-	20.8	
	部位区分		7ーチ					部位 区分		三側壁			
	区分		5 劣化	/ *		-		区分		質劣化			-
変状	種類		び割れ			类是一上发	変状	種類		び割れ			
健全性	点検· 措置	調査後 置後					健全性	点検·i 措置					
変状の	発生範囲	田の規模し	× W=0.3m × 0.6m				変状の	発生範囲	の規模	最大幅0.8mm			
前回.	点検時の	D状態	,				前回	点検時の)状態	ひび割れ	最大幅0.8mm		
部	直(方針	. /			実施状況(実施日)		調	査(方針	t)	-		実施状況(実施日)	-
措	置(方針	*	迷続監視		実施状況(実施日)		措	置(方針		-		実施状況(実施日)	-
Х	Ŧ	右アーチ	部に閉合ひで	び割れ。 周辺に	打音異常なし。対	対策区分の判定 b。	У	Ŧ	左側壁	部に横断方向]ひび割れ。対策	区分の判定 。	
	+_+				宇施後の写直を 済			<u> </u>	14.4c+	·	は、その実施状況	ロバハムッマキャ	ンチムナットし

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

フリ:	ガナ	サクタズイドウ		路線名	作田防災ダム線	点検賞	業者·点村	食者名	(株)復建技術コ	ンサルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
名		作田隧道	-	管理者名	七戸町	調査業	者·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	S015				写真番号	覆工 スパン 番号	,	S015	Secretary Control		New Control Section 18
番号	変状 番号	2				番号	変状 番号		3		55/ [-08/	1=18 V
変状	対象 箇所	覆工	- L. A.	1		変状	対象 箇所		覆工	1013 7-11	South	7 02
部位	部位 区分	アーチ				部位	部位 区分	右	アーチ	5-1	5	
変状		材質劣化					区分		質劣化			The state of the s
変状		目地材劣化				变状	種類		ひび割れ			
健全性	点検·語 措置				STORY CONTRACTOR STREET	健全性	点検·記 措置					
変状の	発生範囲	の規模 L×W=12.1m×0.05m				変状の	発生範囲	の規模	L × W=0.2m × 0.2m			
前回	点検時の	状態				前回	点検時の	状態	ひび割れ×	L × W=0.2m × 0).2m	
調	査(方針	-) -		実施状況(実施日) -	部	査(方針	 	-		実施状況(実施日)	-
措	置(方針	-) -		実施状況(実施日) -	措置(方		針) 継続監視			実施状況(実施日)	-
人		アーチ部に目地材の	劣化。対策区分(D判定。		У	Ŧ	右アーラ	チ部に閉合ひ	び割れ。周辺に打	丁音異常なし。対	策区分の判定 b。
写真	覆工 スパン 番号	S015				写真	覆工 スパン 番号	:	S016			
番号	変状 番号	4				番号	変状 番号		1		1	034
変状	対象 箇所	覆工	MOZE			変状部位	対象 箇所		覆工		(No	1,15
部位	部位 区分	右側壁	<i>1102</i>			部业	部位 区分	2	三側壁	NO AS		
変状		材質劣化					区分		質劣化			
変状		ひび割れ		1		変状	種類		び割れ			
健全性	点検・語 措置		The state of the s	de la laboration	4	健全性	点検·i 措置					
変状の		の規模 最大幅0.5mm				変状の			最大幅0.7mm			
	点検時の		最大幅0.5mm				点検時の		ひび割れ	最大幅0.7mm		
調	査(方針	-) -		実施状況(実施日) -	訓	査(方針	h)	-		実施状況(実施日)	-
	置(方針			実施状況(実施日) -	挂	置(方針	†)	-		実施状況(実施日)	-
Х	メモ 右側壁部に縦横断方向ひび割れ。対策区分の判定 。			0	Х	Ŧ	左側壁	部に横断方向	可ひび割れ。対策	区分の判定 。		
		き落とし、締首しを宝だ		ナル・ローナー	エムナフート	-	r: 4	11/2-4	ch+5 + 18 /	≥け その宝施状?	0 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2	->

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

フリガナ ザク 名 称 作E - 復工 スパン	田隧道	 管理:									2018年9月18日
		H-T	者名 │-	七戸町	調査業	者·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真 番号	S016		7		写真	覆工 スパン 番号	,	S016	State	12 x 1 2 x 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
番号 変状 番号	2	A STATE OF THE STA			番号	変状 番号		3		THE S	
対象 変状 箇所	覆工		100		変状	対象 箇所		覆工			
部位 部位 区分	左アーチ	1/2			部位	部位 区分	左	アーチ			
变状区分	材質劣化					区分		質劣化			FRI
変状種類	ひび割れ				変状	種類		(補修部)			21.3413
健全性 描置後					健全性	点検·i 措置					
変状の発生範囲の規	規模 最大幅0.8mm				変状の	発生範囲	の規模	L × W=0.1m × 0.2m			
前回点検時の状態	態 ひび割れ	最大幅0.8mm			前回	点検時の	状態	うき × L×V	V=0.1m × 0.2m		
調査(方針)	-	実施状況((実施日)	-	調	査(方針	†)	-		実施状況(実施日)	-
措置(方針)	-	実施状況((実施日)	-	措	置(方針	†)	継続監視		実施状況(実施日)	-
メモ 左ブ	アーチ部に横断方[句ひび割れ。対策区分の	判定。		Х	Ŧ	左アーチ	部にうき。アー	チ部であるが、早期	は〈落の可能性は低	い。対策区分の判定 b。
覆工 スパン 写真 番号	S016	We'c			写真	覆工 スパン 番号	;	S016			
番号 変状 番号	4	5-1			番号	変状 番号		5			
対象 変状 箇所	覆工		(0) F	272	変状 部位	対象 箇所		覆工			
部位 部位 区分	右アーチ		11/		部位	部位 区分		与側壁		NOM	
変状区分	材質劣化				変状			質劣化	the street of the street		
	うき(補修部)				変状	種類		び割れ		A	March
健全性 点検·調査 措置後				* *	健全性	点検·i 措置					State of the state
変状の発生範囲の規	規模 L×W=0.2m×0.4m				変状の	発生範囲	の規模	最大幅1.3mm			
前回点検時の状態	態 うき × L×W	′=0.2m × 0.4m			前回	点検時の)状態	ひび割れ	最大幅1.3mm		
調査(方針)	-	実施状況((実施日)	-	調	査(方針	h)	-		実施状況(実施日)	-
措置(方針)	継続監視	実施状況((実施日)	-	措	置(方針	†)	継続監視		実施状況(実施日)	-
メモ 右ア	アーチ部にうき。アーチ	-部であるが、早期は〈落の可	能性は低い	い。対策区分の判定 b。	Х	Ŧ	右側壁部に	横断方向ひび割れ	1。進行は認められない	がひび割れ幅が若干大き	きい事から、対策区分の判定 b。

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

フリ	ガナ	サクタズイドウ		路線名	作田防災ダム線	点検賞	業者·点村	食者名	(株)復建技術コン	/サルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
	称	作田隧道		管理者名	七戸町	調査業	者·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	S017		The Park of the Pa		写真	覆工 スパン 番号	;	S017	0.12		119
番号	変状 番号	1			-	番号	変状 番号		2			
変状	対象	覆工	11/1		1	変状	対象		覆工		AT	
部位	部位区分	左側壁				部位	部位区分	左	アーチ		工罐	
	区分	材質劣化					区分		質劣化			
変状	種類	ひび割れ				変状	種類		は〈落	A CHARLES		THE STATE OF THE S
健全性	点検·記 措置			and a second second second		健全性	点検· 措置					
変状の	発生範囲	間の規模 最大幅0.4m	ım			変状の	発生範囲	の規模	L × W=3.5m × 0.2m			
前回	点検時の)状態 ひび割れ	最大幅0.4mm			前回	点検時の)状態	は〈落×L>	$V = 3.5 \text{m} \times 0.2 \text{n}$	n	
	間査(方針			実施状況(実施日) -		首(方針		-		実施状況(実施日)	-
拮	置(方針			実施状況(実施日		挂	置(方金		-		実施状況(実施日)	-
人	Ŧ	左側壁部に縦断方	向ひび割れ。対策	区分の判定 。		Х		左アーチ	-横断目地部	こは〈落。大きな変	ど化は認められなり	ハ。対策区分の判定 。
写真	覆工 スパン 番号	\$017		37		写真	覆工 スパン 番号	;	S017			
番号	変状 番号	3				番号	変状 番号		4			File S
変状	対象	覆工				変状	対象		覆工		36 3	
部位	部位区分	アーチ天端	7 115	7.4	15	部位	部位区分		-チ天端	de la		< One
	区分	材質劣化					区分		漏水	A SACTOR AND SACTOR		PARA PARA
変状	種類	ひび割れ		-		変状	種類		水(滴水)		- 4 - 5 %	S - THE STATE OF T
健全性	点検·記 措置					健全性	点検·記 措置			Alexander State of the State of		
変状の	発生範囲	目の規模 最大幅0.8m	ım			変状の	 発生範囲	の規模	20ml/min			
前回	点検時の)状態 ひび割れ	最大幅0.4mm			前回.	点検時の)状態	漏水(滴水)	× -		
訓	間査(方針	+) -		実施状況(実施日) -	訓	直(方針	h)	-		実施状況(実施日)	-
措	昔置(方針	+) -		実施状況(実施日	-	措	昔置(方金	 	重点監視·討	画的対策	実施状況(実施日)	
X		アーチ天端部に横	断方向ひび割れ。			У	_				視を行い計画的に対策	を要する。対策区分の判定 a。

フリス	ガナ	サクタズイドウ		路線名	作田防災ダム線	点検賞	業者·点村	食者名	(株)復建技術コ	ンサルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
名	称	作田隧道		管理者名	七戸町	調査業	者·調査技	技術者名		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	S017				写真番号	覆工 スパン 番号		S017			A
番号	変状 番号	5			The same of the sa	番号	変状 番号		6			
変状	対象 箇所	覆工		非		変状	対象		覆工	一一	0.3	
部位	部位 区分	右アーチ				部位	部位区分		5側壁			
変状		材質劣化			1		区分		質劣化		N SEE	100
変状		は〈落		海 11		変状	種類		び割れ	The state of the s		Sec.
健全性	点検·語 措置		BERTAL AND			健全性	点検· 措置			-		
変状の		の規模 L×W=3.6m×0.2m				変状の			最大幅0.3mm	n i		_
前回,	点検時の	状態 は〈落 x Lx	« W=3.6m × 0.2m	า			点検時σ		ひび割れ	最大幅0.3mm		
調]査(方針	-) -		実施状況(実施日) -	誹	直(方針	†)	-		実施状況(実施日)	-
措	置(方針	-) -		実施状況(実施日) -	拮	貴置(方金	†)	-		実施状況(実施日)	-
Y.		右アーチ横断目地部	こは〈落。大きな変	ど化は認められた	い。対策区分の判定。	Х	Ŧ	右側壁	部に縦断方向	句ひび割れ。対策	区分の判定 。	
写真	覆工 スパン 番号	S017			*	写真	覆工 スパン 番号		S018			
番号	変状 番号	7				番号	変状 番号		1			
変状	対象 箇所	路面				変状 部位	対象		覆工			
部位	部位区分	車道					部位区分		アーチ			
変状		漏水			H.		区分		漏水		44.	
変状		滞水	7		FA	変状	種類		K(にじみ)			
健全性	点検·記 措置		CONTROL TO SERVICE	SHELL STATE OF	14	健全性	点検· 措置					
変状の	発生範囲					変状の			4.3m × 1.0m	n		
	点検時の						点検時σ					
調]査(方針	-) -		実施状況(実施日) -	訓	直(方金	†)	-		実施状況(実施日)	-
措	置(方針	※続監視		実施状況(実施日	-	措	昔置(方金	†)	継続監視		実施状況(実施日)	
X	Ŧ	路面に滞水。対策区	分の判定 b。			Х	Ŧ	左アーラ	チ部に漏水(にじみ)。遊離石友	灰を伴う。対策区:	分の判定 b。

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

	**********	サクタズイドウ		路線名	作田防災ダム線	占給對	業者·点札	金老夕	(株)復建技術コ	/サルタント・山下 智士	点検年月日	2018年9月18日
	ガナ		-				者·調查技		(1/1/10/E1X11)=12	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
台	称	作田隧道		管理者名	七戸町	祠直耒1		柳白石		-	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号	S018		TIN		写真	覆工 スパン 番号		S018			
番号	変状 番号	2				番号	変状 番号		3			
変状	対象	覆工	*01x04	43.60	18	変状	対象		覆工			
部位	部位区分	左側壁			To A	部位	部位区分		- チ天端		HILL	三级
	区分	材質劣化		Section 1			区分		質劣化			-
変状	種類	ひび割れ		* N		変状	種類		び割れ			
健全性	措置					健全性	措置	置後				
		の規模 最大幅0.3m	-						最大幅0.3mm			
	点検時の		最大幅0.3mm				点検時の		ひび割れ	最大幅0.3mm		
	間査(方金			実施状況(実施日)	-		査(方針	-	-		実施状況(実施日)	-
挂	置(方金			実施状況(実施日)	-	措	置(方針	-	-		実施状況(実施日)	-
人	Ŧ	左側壁部に縦断方	向ひび割れ。対策	区分の判定 。		Х		アーチ	天端部に縦断	方向ひび割れ。対	対策区分の判定	0
写真	覆工 スパン 番号	S018				写真	覆工 スパン 番号		PE			
番号	変状 番号	4				番号	変状 番号		1	華生	77	
変状部位	対象	覆工	10		A STATE OF THE STA	変状部位	対象		坑門			
	部位区分	右側壁					部位区分		門左側			THE PARTY OF
	区分	材質劣化					区分		漏水			3
変状	種類	ひび割れ				変状	種類		K(にじみ)	Maria Cal		. 10
健全性	点検· 措置	調査後 置後			Marin de la companya del companya de la companya del companya de la companya de l	健全性	点検· 措置					4
変状の	発生範囲	の規模 最大幅0.8m	m			変状の	発生範囲	の規模	0.2m × 1.4m			
前回	点検時の)状態 ひび割れ	最大幅0.8mm			前回	点検時の)状態	漏水(にじみ)			
訓	間査(方針	+) -		実施状況(実施日)	-	訓	直(方針	t)	-		実施状況(実施日)	-
措	昔置(方針	+)		実施状況(実施日)	-	措	置(方針	t)	継続監視		実施状況(実施日)	-
Х	ŧ	右側壁部に横断方	向ひび割れ。対策	区分の判定 。		Х	Ŧ	坑門左	側に漏水(に	びみ)。遊離石灰を	生伴う。対策区分	の判定 b。
	+_+	・き落とし、締直しを国	や体」を担合け 宇	佐後の戸古た	を付すること		広台	対学を	宇体した担合	は、その実施状法	ロがひかる戸古れ	に天仕すっこし

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

755.17	ベジロントロ		2. 水与具合	rix								
フリ	ガナ	サクタズ	(イドウ		路線名	作田防災ダム線	点検第	≹者·点検者?	(株)復建技術コンサルタント・	山下智士	点検年月日	2018年9月18日
名	称	作田隧	道		管理者名	七戸町	調査業者	皆·調査技術者	f名 -	i	調査年月日	-
写真	覆工 スパン 番号		PE	· F. w. 1810	APPEN		写真番号	覆工 スパン 番号				
番号	変状 番号		2	1. 7			番亏	変状 番号				
変状	対象箇所	1	坑門	TO THE ST		TANK TALAMA	変状 部位	対象 箇所				
部位	部位区分		門右側		4			部位 区分				
	区分		漏水				変状					
変状	種類		((にじみ)			A SOLD THE	変状	種類 日本 田本	44.			
健全性	点快 措置	調査後 置後					健全性	点検·調査 措置後	发 			
変状の	発生範囲		0.2m × 1.4m				変状の	発生範囲の規	模			
	点検時の		漏水(にじみ)					点検時の状態	*			
	査(方金	-	-		実施状況(実施日)	-		査(方針)		実放	施状況(実施日)	
	置(方金		継続監視		実施状況(実施日)			置(方針)		実放	施状況(実施日)	
メ	Ŧ	坑門右側	則に漏水(にじ	み)。遊離石灰を	:伴う。対策区分	·の判定 b。	人					
写真番号	覆エン 番号 変番号						写真番号	覆工 スパン 番号 変状 番号				
変状 部位	対象箇所部位区分						変状部位	対象 箇所 部位 区分				
変状	区分						変状	区分				
变状	種類						変状	種類				
健全性	点検·i 措置	調査後置後					健全性	点検·調査征 措置後	後			
変状の	 発生範囲						変状の	<u></u> 発生範囲の規	模			
	点検時の		<u> </u>					点検時の状態				
	直(方金				実施状況(実施日)			 査(方針)		実放	施状況(実施日)	
	 昔置 (方金	-			実施状況(実施日)			i置(方針)		実放	施状況(実施日)	
X	ŧ						Х					
		<u> </u>		コ た担合け 中	1-14 a 🗆 = + 17	- /			Eた字体 た担合け スの		***	·= · · · ·

たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。